



## 瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会 平成 19 年度担当者会の開催報告

### 海ネットが瀬戸内海のワンストップサービス として動き出す！！

平成 19 年 11 月 21 日（水）兵庫県相生市総合福祉会館において瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会平成 19 年度担当者会を、約 70 名の参加で開催しました。

担当者会は、協議会幹事長である井上喜信相生市建設経済環境部長の開会挨拶に始まり、開催地を代表して谷口芳紀相生市長の歓迎挨拶、協議会事務局長を務める中国地方整備局小林知宏技術審査官の挨拶の後、まず、第 1 部分科会として各実行委員会に分かれて議論を行い、続いて第 2 部の全体会において、今年度の総会において決議された、「国土形成計画における瀬戸内海の位置付けに関する提言」の取り扱いをはじめ、リフレッシュ瀬戸内、分科会を踏まえた各実行委員会活動及び先導的個別活動など、今年度の活動報告と平成 20 年度の総会に向けた今後の活動方針について議論を行い、以下の内容を重点的に取り組むことを確認しました。



- ◇瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会の活動方針を国土形成計画に位置付け
- ◇「リフレッシュ瀬戸内」活動の強化



また、翌日の 22 日は、環境学習や清掃活動に取り組んでいる「西播磨なぎさ回廊づくり連絡会」による活動報告と意見交換及び相生湾クルーズを実施しました。

クルーズは、本年 10 月に近畿地方整備局で最初の「みなとオアシス」として仮登録されたばかりの相生港那波地区の公共栈橋を出航し、西播磨なぎさ回廊づくり連絡会が、本年無人島探検マップづくりに取り組んだ 3 つの無人島を回るコースで、一般市民を含む約 90 名が参加しました。